



**岐阜信用金庫**



2023年9月25日

## 三晃パッケージ 株式会社との

### ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、持続可能な社会への貢献を共に実現するため、三晃パッケージ 株式会社（代表取締役 岡崎 栄作）と、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

岐阜信用金庫は、引き続き、地域金融機関としての責任を果たし、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの普及と持続可能な社会を実現するために、お客さまの目標にあわせたサポートを行い、ポジティブな社会的、環境的、経済的なインパクトの実現に積極的に取り組んでいきます。

#### 記

##### 【契約内容】

融資金額	50百万円
期間	7年
資金用途	事業資金

##### 【企業概要】

発行企業名	三晃パッケージ株式会社
所在地	岐阜県岐阜市南鶉4丁目46-1
代表者	岡崎 栄作
事業内容	輸送、梱包用資材販売
資本金	3百万円
設立	1980年7月17日
第三者評価機関	株式会社 格付投資情報センター 評価レポート： <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html">https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html</a>

以上

**三晃パッケージ株式会社**  
**ポジティブインパクトファイナンス評価書**

2023年9月25日



岐阜信用金庫は、三晃パッケージ株式会社（以下、「三晃パッケージ」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、岐阜信用金庫が開発した評価体系に基づいている。

# 目次

<b>1. 事業概要</b> .....	3
(1)企業概要 .....	3
(2)沿革.....	3
(3)事業内容 .....	4
(4)経営理念 .....	5
<b>2. サステナビリティ</b> .....	6
(1)小ロット～大ロットまで柔軟に対応可能な出荷体制の整備.....	6
(2)仕入先と連携した輸送・梱包用資材の開発・改良体制の整備 .....	6
(3)地域貢献への取り組み .....	6
(4)SDGs への取り組み.....	7
<b>3. インパクトの特定</b> .....	8
(1)バリューチェーン分析 .....	8
(2)インパクトレーダーによるマッピング .....	9
(3)特定したインパクト .....	12
(4)インパクトニーズの確認 .....	15
<b>4. KPI の設定</b> .....	18
<b>5. モニタリング</b> .....	20
(1)三晃パッケージにおけるインパクトの管理体制.....	20
(2)当金庫によるモニタリング.....	20
(3)モニタリング期間 .....	20

## 1. 事業概要

### (1) 企業概要

企業名	三晃パッケージ株式会社
本社所在地	岐阜県岐阜市南鷓 4-46-1
代表者	代表取締役 岡崎 栄作
資本金	300 万円
売上高	553 百万円 (2023 年 3 月期)
設立	1980 年 7 月
事業内容	輸送、梱包用資材販売
従業員数	7 名(2023 年 6 月現在)

### (2) 沿革

1980 年	個人事業として創業
1980 年	三晃パッケージ有限会社として法人設立
2007 年	現代表取締役が代表取締役に就任
2008 年	株式会社へ組織変更
2008 年	東京事務所開設
2009 年	瑞穂物流センター開設
2013 年	上海支店開設
2017 年	羽島物流センター開設

### (3)事業内容

同社は岐阜県岐阜市に本社を構える段ボールを中心とした輸送・梱包用資材の総合会社である。段ボール卸売業として創業した同社は、創業当初は岐阜県内アパレル業を主要顧客とし、製品出荷用段ボールの卸売を手掛けてきた。近年は物流システムの進化にあわせて、顧客からのニーズが多様化しており、段ボールを主力取扱製品として取り扱いつつ、輸送・梱包用資材全般を扱う総合会社として事業を展開している。

約 20 年前には事業拡大を図り関東圏へと進出、2008 年には東京支店を設立し、大手化粧品メーカー、アパレルメーカーからの固定案件を獲得している。

また、2012 年には海外拠点として上海に関連会社を設立したことで、中国の輸送・梱包資材製造業者との連携体制を構築。同社が国内における輸送・梱包ニーズをとりまとめたうえで、海外の資材製造業者と共同で新規資材の開発に取り組むなど、その事業内容の幅を拡大している。



#### 【特徴】

同社は輸送・梱包用資材の総合会社として事業を営んでおり、その特徴として顧客の製品輸送プロセス効率化に向けたコンサルティング対応、提案力が挙げられる。

より効率的な製品輸送の実現に向けた提案、提案内容を具現化する資材調達力によって、大手メーカーから中小事業者まで様々な顧客の製品輸送プロセスの効率化に同社は貢献している。

現在では、首都圏大手メーカー、本社の立地する岐阜県内中小事業者と幅広い顧客層を確保し、同社の輸送・梱包ニーズを叶える提案力、資材調達力に対し高い評価を得ている。

#### (4)経営理念

##### ①経営理念

会社方針は「翔ける make a base」と定めている。

その一方で、経営に対する想いは時代とともに変化するものであるとの考えから、会社方針を軸に経営指針を毎年更新している。

「会社方針」  
翔ける  
make a base

令和5年



癸 卯(みずのとう)

三晃パッケージ株式会社

聞・集 ～ 躍

～ 続ける ～

令和5年1月2日 真清田神社祈禱

## 2. サステナビリティ

### (1)小ロット～大ロットまで柔軟に対応可能な出荷体制の整備

同社では段ボールを中心とした輸送・梱包用資材の総合商社として、顧客の求める様々な資材を調達、販売している。

大手同業他社と比較し、同社は最小で段ボール 10 枚といった小ロットでの納品を可能としており、顧客に対し必要なタイミングで必要な数量を提供することができる社内体制を整備している。

この社内体制については、自社物流センターを構えることでの資材管理に加えて、人材面からも社内在庫の管理、発送体制を整備しており、受注後速やかな出荷を可能としている。

### (2)仕入先と連携した輸送・梱包用資材の開発・改良体制の整備

同社では国内資材メーカーに加え、海外資材メーカーとも連携を図り、顧客ニーズに応えるための輸送・梱包用資材の開発、改良に取り組んでいる。

この資材メーカーと共同で取り組む輸送・梱包用資材の開発、改良については、顧客が製品輸送において輸送・梱包用資材に求めるサイズ、形状、素材等を同社が的確に把握し提案を実施している。顧客が求める資材を実現するために同社のコンサルティング力が活用されており、資材メーカー各社に仕様を適切に伝達することでムダの少ない資材開発、改良を実現している。

この顧客の求める資材開発・改良体制により、製品輸送時に使用する資材に留まらず、店頭で利用するショップバッグやギフトボックスについても、顧客ごとのオーダーメイド資材として提供するに至っている。



同社では左図のような顧客が店頭で利用するショップバッグやギフトボックスについてもデザイン、形状等オーダーメイドで提案、対応し、顧客の製品価値向上に貢献している。

### (3)地域貢献への取り組み

同社では地域貢献への取り組みとして、営業エリアである岐阜県揖斐川エリアにおいて JA いび川の環境系イベントを中心とした協賛を実施しているほか、コロナ禍当初においては資材調達先よりマスクを輸入し、地域公共施設や中小事業者へ配布するなどの取り組みをこれまで実施してきた。

その他、同社が事業展開の中で大手メーカー顧客と共同で取り組んだ輸送プロセス効率化の成果を営業エリア内中小事業者に展開することで、岐阜県エリアにおける事業者の輸送プロセス効率化にも貢献している。



#### (4)SDGs への取り組み

同社は SDGs の取り組みとして、一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー（CCF）の取り組みに賛同している。CCF は、繊維に関わる全てのプロセスで排出される繊維ゴミを回収し再生させる繊維の循環システムを社会実装することを目的としている。

同社はアパレル産業向けに梱包資材を卸していることから、同事業に賛同している。

### 3. インパクトの特定

#### (1)バリューチェーン分析

インパクトの特定のため、同社主力事業である「輸送・梱包用資材卸売事業」についてバリューチェーン分析を実施した。

同社は輸送・梱包用資材全般を扱う総合商社として、顧客のニーズにあわせた輸送・梱包用資材を調達、販売している。

同社事業の特徴として、

①輸送・梱包用資材の総合商社としての製品輸送効率化に向けたコンサルティング力

②小ロットから大ロットまで顧客需要に合わせたジャスト・イン・タイムでの資材納入力

の2点が挙げられる。

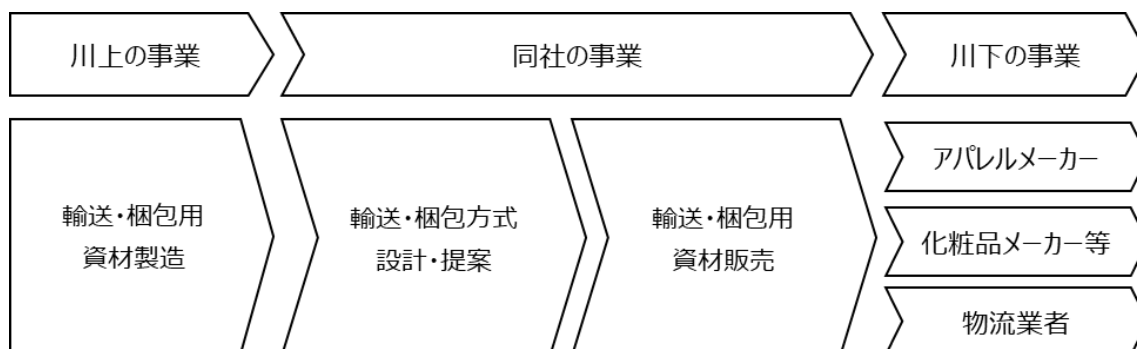
①輸送・梱包用資材の総合商社としての製品輸送効率化に向けたコンサルティング力

同社では創業以来培ってきた経験、ノウハウにより顧客の要望する資材提供を実現している。近年では、資材提供にとどまらず、輸送方法変更に関する提案など総合的な提案を実施することで、製品輸送の効率化を図っている。

②小ロットから大ロットまで顧客需要に合わせたジャスト・イン・タイムでの資材納入力

同社が創業以来構築してきた多様な資材製造事業者とのネットワークを活用し、顧客が求める資材を、必要なタイミングに必要な数量だけ提供することが可能である。競合となる大手資材商社と比較し、小ロットでの資材提供が同社の優位性構築につながっている。

同社のバリューチェーン図（図は同社提供資料をもとに岐阜信用金庫にて作成）



## (2)インパクトレーダーによるマッピング

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。

同社の事業および川上・川下の事業を国際産業標準分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

同社の事業については「廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品の卸売業（ISIC: 4669）」を、川上の事業については「段ボール及び板紙並びに紙製・板紙製容器製造業（ISIC: 1702）」を、川下の事業については「衣服製造業（毛皮製衣服を除く）（ISIC: 1410）」、「石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業（ISIC: 2023）」をそれぞれ適用し、発生するインパクトの検証を行った。

◎：主要カテゴリ ○：関連カテゴリ

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川上の事業		同社の事業		川下の事業			
	【1702】 段ボール及び板紙並びに 紙製・板紙製容器製造業		【4669】 廃棄物・スクラップ及び 他に分類されないその他の 製品の卸売業		【1410】 衣服製造業 (毛皮製衣服を除く)		【2023】 石けん、洗剤、クリーニン グ・つや出し剤、香水及び 化粧品類製造業	
	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
水						◎		
食糧								
住居								
健康・衛生			○		○		○	
教育								
雇用	○	○	○	○	○	○	○	○
エネルギー								
移動手段								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障						○		
正義・公正								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		◎		○		◎		○
大気		○		○		○		○
土壌								
生物多様性と生態系サービス				○				
資源効率・安全性		○	○			○		○
気候		○	○	○		○		○
廃棄物		◎	○	○		○		○
包括的で健全な経済	○				○		○	
経済収束			○					

上記のうち、同社事業に関わる「健康・衛生」、「経済収束」、川上の事業については同社事業活動との関連性が希薄と判断し、分析を省略している。また、川下の事業は「水」、「健康・衛生」、「雇用」、「人格と人の安全保障」、「水（質）」「包括的で健全な経済」については同社事業活動との関連性が希薄と判断し、分析を省略している。

同社の事業 廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品の卸売業(ISIC: 4669)

PI	「雇用」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」
NI	「雇用」「水（質）」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「気候」「廃棄物」

## 【社会面】

### ◆「雇用」

従業員の雇用の創出という PI と、労働形態によっては労働者の健康状態が脅かされるという NI が発現する。

同社では再雇用制度の活用により従業員の雇用機会の創出および産休・育休制度の整備をはじめとして従業員が働き続けやすい労働環境の整備・改善を図ることで PI の拡大に努めている。シルバー人材の活用にも積極的であり、高齢者でも働き続けられる仕事内容の調整や勤務日数の短縮により労働負荷を軽減し、NI を緩和している。

上記は SDG8「働きがいも経済成長も」に該当する。

- 「8.5：2030 年までに、若者や障害者を含むすべての女性と男性にとって、完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい仕事を実現し、同一労働同一賃金を達成する。」
- 「8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある人々を含め、すべての労働者を対象に、労働基本権を保護し安全・安心な労働環境を促進する。」

## 【環境面】

### ◆「水（質）」、「大気」、「生物多様性と生態系サービス」、「資源効率・安全性」、「気候」、「廃棄物」

古紙回収による段ボール製造は資源循環に貢献し、リサイクル製品が流通することで「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」において PI が発現する。一方、梱包資材の過剰利用や非効率な輸送プロセスによる資源やエネルギーの過剰利用、廃棄物の増加により NI が発現する。同社は創業以来、段ボールを主力取扱製品とし、アパレル業界の製品出荷用段ボールを扱うことで資源循環に貢献している。さらに、近年ではアパレル業界以外の分野との取引を拡大することで PI を拡大している。

近年では、製品出荷用段ボールとしての機能面だけでなく、梱包資材のサイズや形状変更によるムダの排除や梱包資材の仕様変更による梱包時の粘着テープ不使用の実現など、過剰梱包を抑制し廃棄物の削減に貢献している。また、輸送・梱包用資材の総合商社として輸送プロセスの効率化に取り組むことで、輸送による環境負荷軽減を図っている。さらに、梱包資材に SFC 認証素材を活用することで、環境に配慮した取り組みを推進し NI を緩和している。

上記は SDG11「住み続けられるまちづくりを」、SDG12「つくる責任つかう責任」、SDG13「気候変動に具体的な対策を」に該当する。

- 「11.6：2030 年までに、大気環境や、自治体などによる廃棄物の管理に特に注意することで、都市の一人あたりの環境上の悪影響を小さくする。」

□「12.5: 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。」

#### 川下の事業

衣服製造業（毛皮製衣服を除く）業（ISIC: 1410）

石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業（ISIC: 2023）

NI	「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」
----	-------------------------

#### 【環境面】

##### ◆「廃棄物」

事業活動にともない廃棄物が排出されるという NI が発現する。

同社では、リサイクル製品である段ボールを流通させることで廃棄物削減に貢献していることに加え、梱包する製品にあわせてサイズ、形状、仕様を変更することで、資源の有効活用に貢献している。さらに、小ロット対応を実現することで不使用在庫の削減に貢献し NI を緩和している。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」に該当する。

□「12.5: 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。」

##### ◆「大気」、「資源効率・安全性」、「気候」

事業活動における非効率なプロセスは環境負荷の増大をもたらす、NI が発現する。

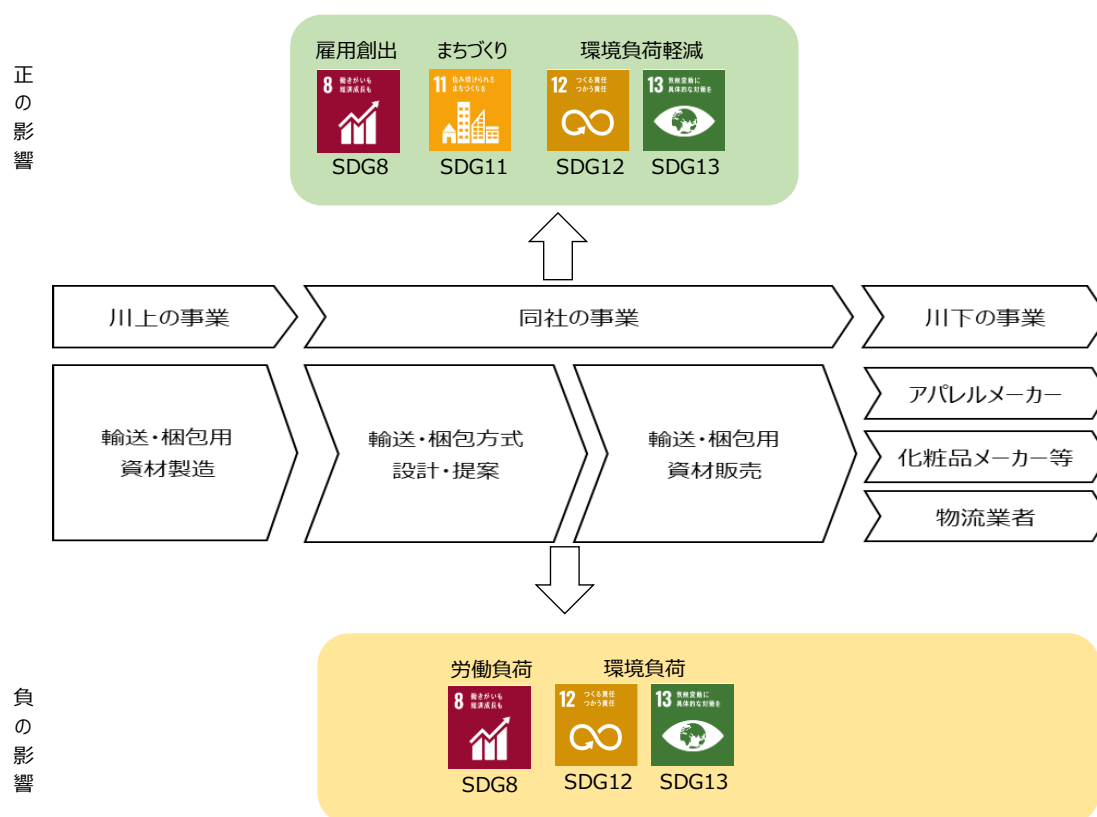
同社では、梱包資材のみの取り扱いに留まらず、他社と連携して輸送プロセスの改善に取り組むことで、より効率的な輸送を実現し環境負荷低減に努めることで NI を緩和している。

上記は SDG12「つくる責任つかう責任」に該当する。

□「12.4: 2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクル全体を通して化学物質や廃棄物の環境に配慮した管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小限に抑えるため、大気、水、土壌への化学物質や廃棄物の放出を大幅に減らす。」

### (3)特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同社のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。



以上を踏まえて同社のインパクトを下記の3つに特定した。

#### 【重要なインパクト】

- 「輸送・梱包プロセスの提案実施による輸送効率向上に貢献」
- 「BtoC用梱包資材の提案により顧客の製品付加価値向上に貢献」
- 「サステナブル製品の普及」

#### ① 輸送・梱包プロセスの提案実施による輸送効率向上に貢献：SDG12、13

同社は輸送・梱包用資材全般を扱う総合商社として、製品の輸送に欠かせない梱包資材を提供し、事業者間における製品輸送に貢献している。同社の特徴として、梱包資材の販売に留まらず、物流会社等と連携し顧客の輸送プロセスの効率化に取り組んでいることが挙げられる。同社の社長を中心に、各分野の専門家と連携できる体制を構築しており、製品に合わせた最適な輸送方法を実現している。

今後、物流業界では運送業における働き方改革関連法への対応が必須となり、より効率的な製品輸送への対応がサプライチェーンを挙げて求められる。同社は事業展開の中で蓄積してきた輸送プロセス効率化に向けたノウハウを活用するとともに、物流会社や資材メーカー等と連携した提案により、川下の事業の効率的な輸送を実現することで環境負荷低減に貢献していく。

これらの取り組みは、同社が得意とする最適な梱包資材の選択・提案により製品輸送時の積載スペースの有効利用につながっている。さらに、物流会社等との連携はモーダルシフトを含めた適切な運搬方法の確立に加え、倉庫内の設備改善提案による保管スペースの有効活用、製品入出庫の効率化を実現し輸送効率向上に貢献している。また、同社が提供する梱包資材は段ボールが主流であり、リサイクル材の積極的な採用により資源の有効活用に貢献している。

この取り組みのノウハウを大手企業に限定せず、地元中小企業にまで普及させることで、同社が輸送効率向上に貢献する意義が発生する。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレダーでは「大気」「資源効率・安全性」「気候」のカテゴリに該当し、環境的側面の PI を拡大、環境的側面の NI を緩和すると考えられる。

#### ② BtoC 用梱包資材の提案により顧客の製品付加価値向上に貢献：SDG11、12、15

同社では総合商社として取り扱う資材バリエーションを製品輸送時に使用する資材に留まらず、店頭で利用するショッピングバッグやギフトボックスなどの分野へも貢献領域を拡大し、顧客の製品価値向上に貢献している。

同社顧客の中心となるアパレルメーカーや化粧品メーカーにおいても、マーケティング施策が高度化する中で、パッケージデザインの切り替わり頻度が高くなっており、期間限定パッケージ等の活用も増加している。これらへの対応は同社が得意とする小ロットかつジャスト・イン・タイムでの資材納入力が活用できるものである。

同社では、多様化する顧客ニーズの変化にジャスト・イン・タイムで対応しつつ、環境に配慮した SFC 認証素材を使用したパッケージを活用することで川下の事業の製品付加価値向上に貢献していく方針である。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレダーでは「土壌」、「資源効率・安全性」、「生物多様性と生態系サービス」、「気候」のカテゴリに該当し、環境的側面の NI を緩和すると考えられる。

#### ③ サステナブル製品の普及：SDG12、13

同社の顧客はアパレルメーカー、大手化粧品メーカーのほか、本社が立地する岐阜県内アパレルメーカーなどが主力となり、これらアパレル業界、化粧品業界においては製品品質に加えて企業、製品のイメージアップの観点より SDGs 達成に向けた取り組みが重要視されている。

同社への輸送・梱包資材に関する相談についても、近年では機能性、価格に加えて環境に

配慮したサステナブル製品の提案を求められる場面が増加している。従来主力製品と比較し、サステナブル製品は高単価となるが、「資材種類の変更提案を通じたサステナブル製品の普及」、「サステナブル製品取扱量拡大を通じたボリュームディスカウント」の2点に取り組んでいく。

「資材種類の変更提案を通じたサステナブル製品の普及」に関する一例として、「箱」形状パッケージを「袋」形状に変更することで、パッケージ素材をサステナブル素材へ変更することが可能となる。形状の変更により単価上昇を吸収しながら機能性も同時に達成し、かつ、サステナブル素材を活用できる。今後もこのような提案を積極的に実施していくことで、顧客のサステナブル製品採用率を高めていく。

また、「サステナブル製品取扱量拡大を通じたボリュームディスカウント」について、大手メーカーを中心にサステナブル製品への切り替えを積極的に提案していく方針である。同社が調達するサステナブル製品の数量を増加させていくことで、ボリュームディスカウントによる単価低減を図り、中小事業者に対しても価格面で受け入れられやすい環境を整備していく。

そのほか、サステナブル製品として、PP（ポリプロピレン）の素材変更や緩衝材の紙利用、梱包時の粘着テープ不使用のパッケージなどの普及に取り組んでいく。素材変更への取り組みは「PP から紙」への切替が想定され、石油を原料とする製品の使用抑制につながり、CO2 排出量の削減や枯渇原料である石油の使用抑制に貢献する。

これらの取り組みを通じて、顧客へ提供していく輸送・梱包用資材に占めるサステナブル製品の割合を増加させていき、輸送・梱包における環境負荷軽減に貢献していくとともに、顧客のイメージアップ、これに伴う経済効果の創出へと貢献していく。

これらのインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」のカテゴリに該当し、環境的側面の PI を拡大し、環境的側面の NI を緩和すると考えられる。



#### (4)インパクトニーズの確認

##### ① 日本におけるインパクトニーズ

同社売上高の大半は日本国内におけるものであり、国内における SDG インデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同社のインパクトとの関係性を確認した。

本 PIF において特定したインパクトに対応する SDGs のゴールは、以下の 3 点である。

「11：住み続けられるまちづくりを」

「12：つくる責任、つかう責任」

「13：気候変動に具体的な対策を」

「15：陸の豊かさを守ろう」

国内における SDG ダッシュボード上では、「12」、「13」に関しては「大きな課題が残る」、「11」に関しては「課題が残る」とされており、同社のエコ製品の積極提案による環境負荷低減への取り組み、顧客の製品輸送プロセス効率化に向けた取り組みなどが、日本国内におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。



(出典：SDSN)

## ② 岐阜県におけるインパクトニーズ

同社の事業活動は立地する岐阜県を中心に行われていることから、「岐阜県 SDGs 未来都市計画」を参照し、岐阜県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

下記の通り、岐阜県では「<環境>美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用」、「<経済>「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立」、「<社会>誰もが活躍し生きがいを感ぜられる地域社会の構築」を 2030 年のあるべき姿と設定し SDGs 達成に向けた課題を設定しており、同社のエコ製品の積極提案による環境負荷低減への取り組み、顧客の製品輸送プロセス効率化に向けた取り組みなどが、岐阜県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

### 岐阜県 第2期SDGs未来都市計画の概要

#### 計画の位置付け

- ・内閣府に「SDGs未来都市」として選定された自治体が2030年のあるべき姿を実現するための、環境・経済・社会の3側面の取組みを具体化したアクションプラン。
- ・第1期計画が令和4年度で終了することから、第2期(令和5年度～令和7年度)計画を策定。

#### 地域特性

##### ①岐阜県の特徴

- 豊かな自然環境**
  - ・豊かな森林と美しい清流に恵まれた「山薬水明」の地(森林面積、河川延長は全国屈指)
  - ・これは岐阜県が優位性を有する「自然資本」
- 「豊かな自然」が育んだ魅力あふれる地域資源**
  - ・豊かな自然から得た地域資源を確に各地域で独自の生活様式や文化を形成
  - ・世界農業遺産「長良川システム」の認定(2015年)
  - ・「清流」が織りなす文化、食、営みにより本県は「清流の国」と呼ばれるアイデンティティを確立
- 多彩な農林畜水産物**
  - ・多彩な農林畜水産物の生産(ほうれんそう、トマト、柿、粟、飛騨牛、東濃柿等)
- 多様なものづくり(伝統工芸から先端産業まで)**
  - ・多様な製造業が集積(飛騨の家具、関の刃物、美濃和紙、美濃焼、電気機械・工作機械などの製造業、航空宇宙産業等)
- 魅力的な観光地とインバウンド**
  - ・魅力的な観光資源(白川郷、下呂温泉、飛騨高山、長良川鶴岡、関ヶ原、地歌興夜等)
  - ・サステイナブル・ツーリズムの推進
  - ・世界の持続可能な観光地100選【白川村(2020年)、長良川流域(2021年)、下呂市・下呂温泉(2022年)】
  - ・「NEXT Gifu HERITAGE～岐阜未来遺産～」認定制度の創設

##### ②岐阜県の人口

<推移と予測> 201万8千人(2010年)→197万9千人(2020年)→136万7千人(2050年)  
 <年齢構成の予測>2050年：生産年齢人口(15～64歳)は5割まで減少、高齢人口(65歳以上)は4割増

#### 今後取り組む課題

少子高齢化に対応した地域活性化が必要

アフターコロナを見据えたDX、GXなどの推進が必要

気候変動や環境問題等、フロンティア・バウンダリーへの視点での対応が必要

持続可能な「清流の国ぎふ」づくり

- <環境>**
  - ・温室効果ガス削減
  - ・自然と人が共生できる社会の確立、等
- <経済>**
  - ・デジタル技術を活用したビジネス変革
  - ・社会経済情勢の変化に強い経営体質等へのシフト、等
- <社会>**
  - ・誰もが活躍でき生きがいを得られる社会的包摂
  - ・デジタル化やSDGsといった課題に対応できる教育、等

これらに「オール岐阜」での取組みが不可欠

#### 2030年のあるべき姿

##### 自然と人が創り出す 世界に誇る「清流の国ぎふ」

【あるべき姿】を実現するための共通認識】

- ・森林や清流などの豊かな自然は、全国・世界にも誇れる本県ならではの「自然資本」
- ・各地域が特徴を活かし、地域内で財やエネルギーが循環する「地域循環共生社会」を形成すべき
- ・SDGsは地球で暮らす一人ひとりが最低限確保すべきマナーと理解すべき

**<環境> 「美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用」**

- ・「脱炭素社会ぎふ」の実現
- ・自然環境や生物多様性の保全と産業等での活用との両立
- ・資源循環型社会の形成
- ・自然災害への対策の構築

**<経済> 「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立**

- ・伝統産業や農林水産業の世界的評価を獲得
- ・サステイナブル・ツーリズムの確立
- ・DXによる産業分野の競争力の発揮
- ・コロナ等社会経済情勢の変化に強い産業の確立

**<社会> 「誰もが活躍し生きがいを感ぜられる地域社会の構築」**

- ・多様な人材の活躍
- ・人口減少下でも活力ある地域社会の構築
- ・子育て支援等福祉資源の充実
- ・デジタル社会、SDGs、グローバル社会に対応した教育の展開

#### 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

環境	経済	社会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「脱炭素社会ぎふ」の実現、自然環境・生物多様性の保全、資源循環型社会の形成を目指す。</li> <li>【KPI】(指標)</li> <li>・温室効果ガス総排出量</li> <li>・家庭一世帯当たりのエネルギー消費量</li> <li>・一般/産業廃棄物排出量</li> <li>・人工造林面積(両辺林等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術を活用したビジネス変革の推進、多様な人材の確保、定着等、社会経済情勢の変化に強い産業構造を目指す。</li> <li>【KPI】(指標)</li> <li>・農業産出額</li> <li>・林業産出額</li> <li>・従業員一人当たりの付加価値額</li> <li>・観光消費額</li> <li>・一人当たり県民所得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰一人取り残されることなく活躍できる人口減少下でも活力ある地域社会を目指す。</li> <li>【KPI】(指標)</li> <li>・くらしの満足度</li> <li>・合計特殊出生率</li> <li>・労働力率</li> <li>・移住者数(累計)</li> </ul>
<p>※目標値は27%に記録</p>		
<p>※目標値は27%に記録</p>		
<p>※目標値は37%に記録</p>		
<p>ゴール、ターゲット実現のため「オール岐阜」でSDGsを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民一人ひとりがSDGsの理念や意義を理解し、その達成に向け行動する社会を目指す。</li> <li>【KPI】(指標)</li> <li>・県民のSDGs達成に向け行動に移した割合 52.8%(2022年度) → 80.0%(2030年度)</li> <li>・「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク会員数 924会員(2021年度) → 1,650会員(2025年度)</li> <li>・新たな登録制度の登録事業者数(累計) ———— → 600企業・団体(2025年度)</li> </ul>		

(出典：岐阜県第2期SDGs未来都市計画の概要)

16

### ③ 岐阜信用金庫との親和性

#### ◆「ぎふしん SDGs 宣言」

以下の3項目をSDGs達成に向けた重点課題としている。

- (1) 持続可能な地域の経済成長のための活動
- (2) 持続可能な地域産業の基盤構築のための活動
- (3) 持続可能なまちづくりのための活動

#### ◆親和性の確認



本件 PIF の取り組みに際し特定した当社のインパクトである「輸送・梱包プロセスの提案実施による輸送効率向上に貢献」については、「ぎふしん SDGs 宣言」の(2)、(3)と、「BtoC 用梱包資材の提案により顧客の製品付加価値向上に貢献」については「ぎふしん SDGs 宣言」の(2)、(3)と、「サステナブル製品の普及」については、「ぎふしん SDGs 宣言」の(1)、(2)、(3)と親和性があり、相互に協力しあうことで、「経済」「社会」「環境」の3つの側面に渡り、持続可能な開発に関する枠組みとして、良質な効果が発生するものと思われる。

以上から、本 PIF の取組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。



#### 4. KPI の設定

特定したインパクトの発現状況を今後も継続的に測定可能なものとするため、先に特定したインパクトに対し、インパクトの種類、インパクトカテゴリ、関連する SDGs、内容・対応方針および目標と KPI を整理、設定する。



##### ■ 輸送・梱包プロセスの提案実施による輸送効率向上に貢献

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてポジティブインパクトを拡大 環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「大気」「資源効率・安全性」「気候」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動的な注文対応から変革を促し、お客様のビジョンに合う提案を実施。</li> <li>・既往取引先への輸送効率化の提案実施。</li> </ul>
目標と KPI	・2030 年 3 月期まで継続的に、輸送効率化に向けた提案を実施し 25 社の成約。

##### ■ BtoC 用梱包資材の提案により顧客の製品付加価値向上に貢献

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「土壌」「資源効率・安全性」「生物多様性と生態系サービス」「気候」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージ等、商品の付加価値を高める提案を実施。</li> <li>・小ロットかつジャスト・イン・タイムでの資材納入による差別化。</li> <li>・適切に管理された森林の木材を原料とする FSC 認証紙の活用を推進による環境負荷低減。</li> </ul>
目標と KPI	・2030 年 3 月期までにおいて、BtoC 用資材における FSC 認証紙を利用した製品売上を全体の 15%とする。

■ サステイナブル製品の普及

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてポジティブインパクトを拡大 環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトカテゴリ	「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」 「廃棄物」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規取引先を含む、取引先に対して、PP（ポリプロピレン）の素材変更、紙を利用した緩衝材やテープを使用しないパッケージなどサステイナブル製品への置き換え提案を実施する。</li> </ul>
目標と KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030 年 3 月期までに、サステイナブル製品の売上を 200 百万円規模とする。</li> </ul>

## 5. モニタリング

### (1)三晃パッケージにおけるインパクトの管理体制

同社では、岡崎社長と岡崎取締役を中心に自社業務の棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定、並びに KPI の設定を行った。

今後については、以下の体制を中心とした同社プロジェクトチームが柱となって SDGs の推進、本 PIF で設定した KPI の進捗管理を行っていく方針である。

#### 【モニタリング体制】

統括責任者	代表取締役社長	岡崎 栄作
プロジェクトリーダー	専務取締役	岡崎 正枝

### (2)当金庫によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と岐阜信用金庫の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。情報共有については、少なくとも年に 1 回実施することに加え、日々の情報交換や営業活動を通して実施していく。

### (3)モニタリング期間

下記の通り融資返済期限と同一期間にて定める。

モニタリング期間 (返済期限)	7 年間 (2030 年 9 月 25 日)
--------------------	---------------------------

**【留意事項】**

1. 本評価書の内容は、岐阜信用金庫が現時点で入手可能な公開情報、三晃パッケージ株式会社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況の評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 岐阜信用金庫が本評価に際して用いた情報は、岐阜信用金庫がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。岐阜信用金庫は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は岐阜信用金庫に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。